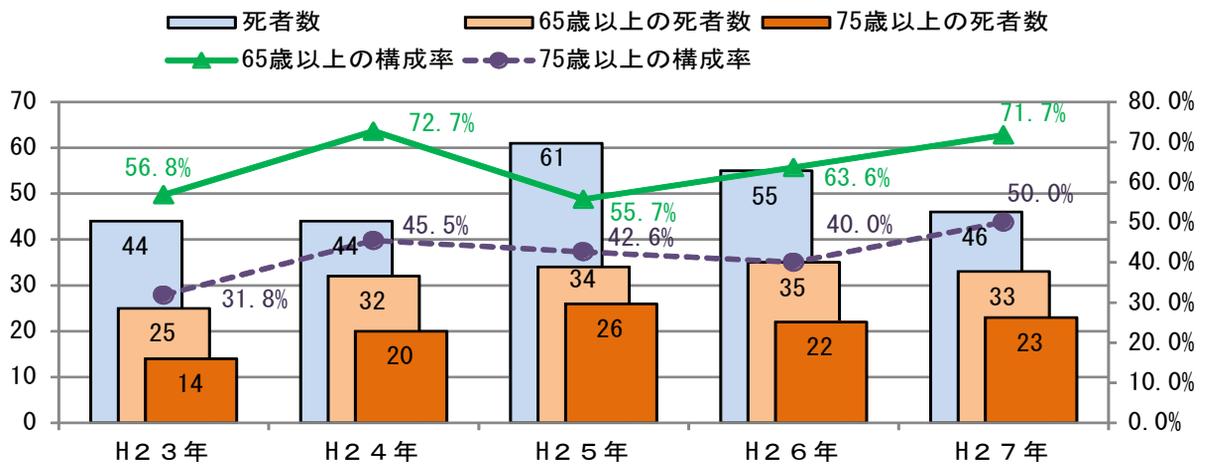


高齢者の交通事故（死者・重傷者）の推移

高齢者の事故死者数の推移（平成23年から平成27年）

交通事故死者数に占める高齢者の割合は高く、昨年は71.7%を占め、75歳以上の死者の割合も半数を占めた。

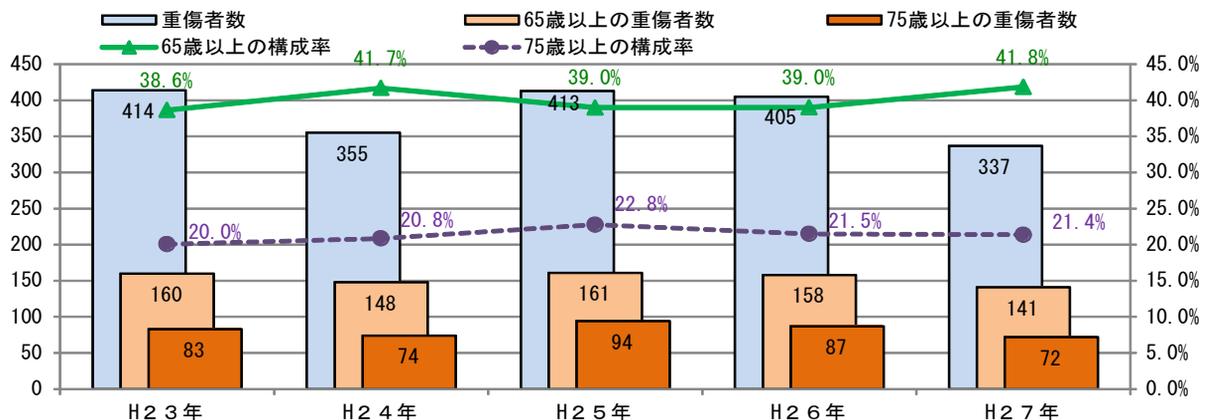
	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	平均
死者数	44	44	61	55	46	50.0
65歳以上の死者数	25	32	34	35	33	31.8
65歳以上の構成率	56.8%	72.7%	55.7%	63.6%	71.7%	63.6%
75歳以上の死者数	14	20	26	22	23	21.0
75歳以上の構成率	31.8%	45.5%	42.6%	40.0%	50.0%	42.0%



高齢者の事故重傷者数の推移（平成23年から平成27年）

交通事故重傷者数に占める高齢者の割合は4割前後を占め、昨年は41.8%であった。

	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	平均
重傷者数	414	355	413	405	337	384.8
65歳以上の重傷者数	160	148	161	158	141	153.6
65歳以上の構成率	38.6%	41.7%	39.0%	39.0%	41.8%	39.9%
75歳以上の重傷者数	83	74	94	87	72	82.0
75歳以上の構成率	20.0%	20.8%	22.8%	21.5%	21.4%	21.3%



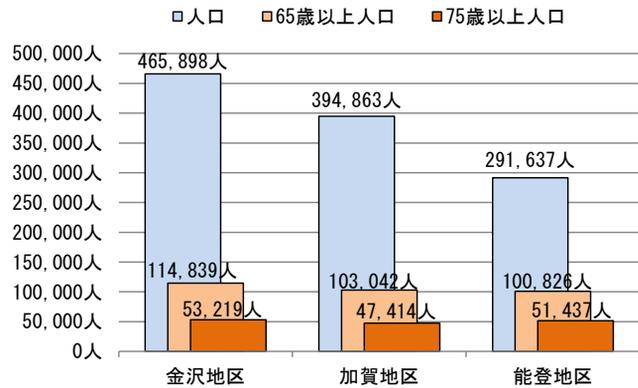
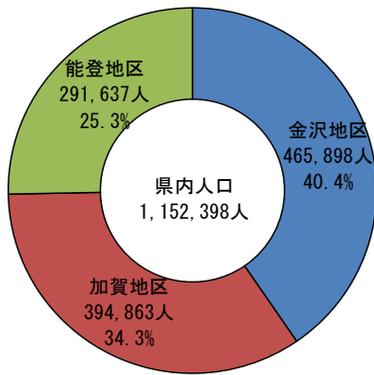
高齢者の人口と高齢者の事故死者数の推移

県内の地区別の人口（平成27年）

県内人口は金沢、加賀、能登地区の順に多いが、各地区の高齢者人口に大きな差はなく、高齢者の構成率は能登、加賀、金沢地区の順に高い。

	人口	65歳以上人口		75歳以上人口	
		65歳以上人口	65歳以上構成率	75歳以上人口	75歳以上構成率
県内	1,152,398人	318,707人	27.9%	152,070人	13.3%
金沢地区	465,898人	114,839人	25.0%	53,219人	11.6%
加賀地区	394,863人	103,042人	26.3%	47,414人	12.1%
能登地区	291,637人	100,826人	34.6%	51,437人	17.7%

※ 人口は石川県統計情報室「年齢(各歳)別、男女別推計人口(平成27年10月1日現在)」による



高齢者の事故死者数と高齢者の人口の推移

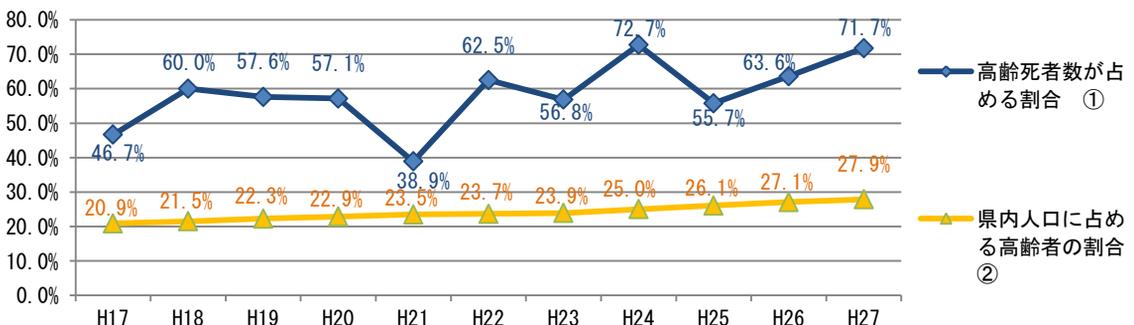
交通事故死者数に占める高齢者の割合は、人口に占める高齢者の割合より高く、その推移は、増減を繰り返しながらも、人口に占める高齢者の割合が年々上昇するに伴い、高くなる傾向がある。

グラフ番号	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	平均
--- 全死者数	75人	65人	59人	56人	54人	64人	44人	44人	61人	55人	46人	56.6人
--- 高齢死者数	35人	39人	34人	32人	21人	40人	25人	32人	34人	35人	33人	32.7人
① 高齢死者数が占める割合	46.7%	60.0%	57.6%	57.1%	38.9%	62.5%	56.8%	72.7%	55.7%	63.6%	71.7%	57.8%
② 県内人口に占める高齢者の割合	20.9%	21.5%	22.3%	22.9%	23.5%	23.7%	23.9%	25.0%	26.1%	27.1%	27.9%	-

※ 高齢者人口 平成17年10月1日: 245,739人(20.9%)→平成27年10月1日:318,707人(27.9%)
増減数 :+72,968人(+7.0%)

※ 人口は、石川県統計情報室「年齢(各歳)別、男女別推計人口」による。

○ 交通事故死者数に占める高齢者の割合と県内人口に占める高齢者の割合の推移

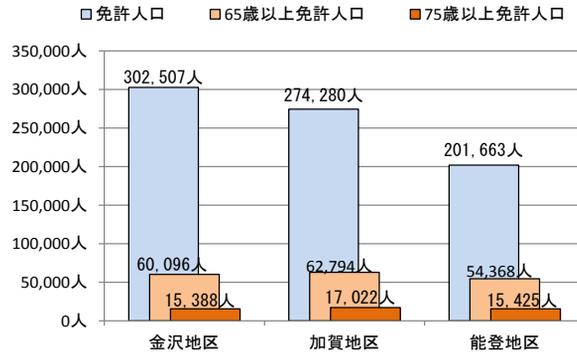
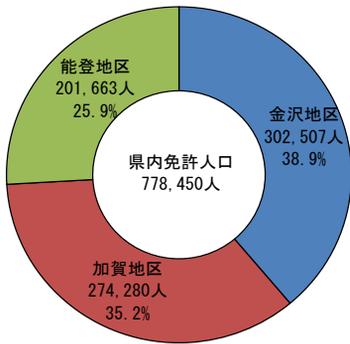


高齢者の免許人口と高齢運転者（第1当）による事故死者数の推移

県内の地区別免許人口（平成27年）

県内免許人口は金沢、加賀、能登地区の順に多いが、各地区の高齢者の免許人口に大きな差はなく、高齢者の構成率は能登、加賀、金沢地区の順に高い。

	免許人口	65歳以上免許人口		75歳以上免許人口	
		65歳以上免許人口	65歳以上構成率	75歳以上免許人口	75歳以上構成率
県内	778,450人	177,258人	22.8%	47,835人	6.1%
金沢地区	302,507人	60,096人	19.9%	15,388人	5.1%
加賀地区	274,280人	62,794人	22.9%	17,022人	6.2%
能登地区	201,663人	54,368人	27.0%	15,425人	7.6%



※ 免許人口は平成27年12月31日現在

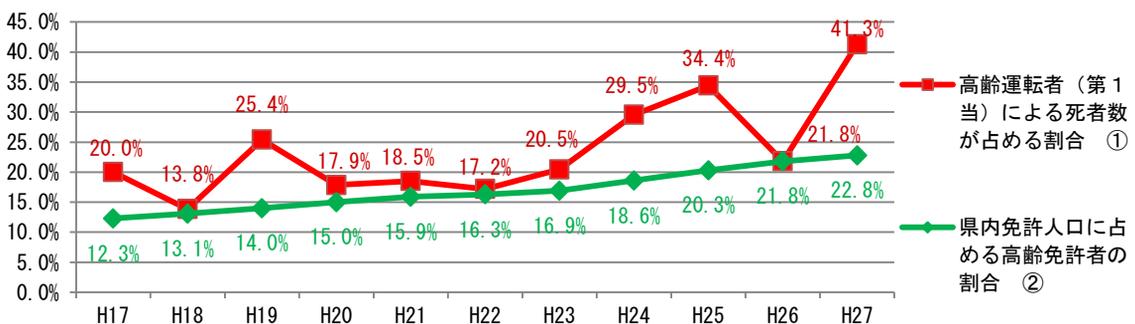
高齢運転者（第1当）による事故死者数と高齢者の人口、運転免許人口の推移

交通事故死者数に占める高齢運転者による死者数の割合は、免許人口に占める高齢免許者の割合よりやや高く、その推移は、免許人口に占める高齢免許者の割合が年々上昇するに伴い、高くなる傾向がある。

グラフ番号	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	平均
--- 全死者数	75人	65人	59人	56人	54人	64人	44人	44人	61人	55人	46人	56.6人
--- 高齢運転者（第1当）による死者数	15人	9人	15人	10人	10人	11人	9人	13人	21人	12人	19人	13.1人
① 高齢運転者（第1当）による死者数が占める割合	20.0%	13.8%	25.4%	17.9%	18.5%	17.2%	20.5%	29.5%	34.4%	21.8%	41.3%	23.1%
② 県内免許人口に占める高齢免許者の割合	12.3%	13.1%	14.0%	15.0%	15.9%	16.3%	16.9%	18.6%	20.3%	21.8%	22.8%	-

※ 高齢者免許人口 平成17年12月末：92,192人(12.3%)→平成27年12月末:177,258人(22.8%)
増減数：+85,066人(+10.5%)

○ 交通事故死者数に占める高齢運転者（第1当）による死者数の割合と県内免許人口に占める高齢者の割合の推移

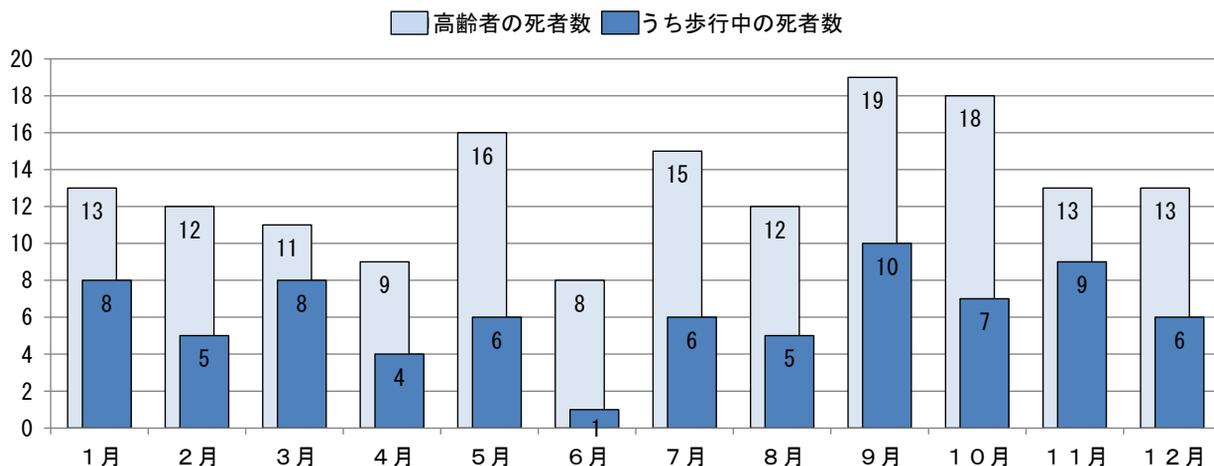
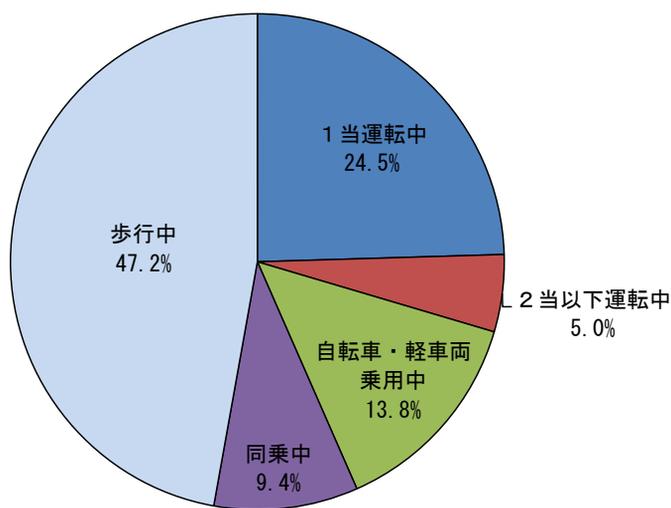


高齢者の状態別・季節別の死者数

状態別・季節別の死者数（平成23年～平成27年）

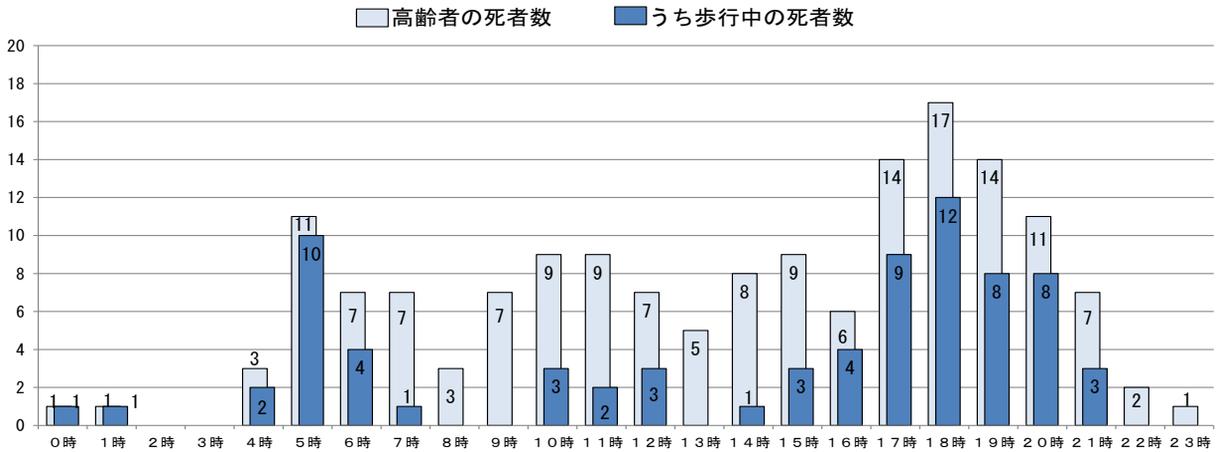
- ◇ 状態別で見ると歩行中の死者が最も多く47.2%を占め、次いで1当運転者が多い。
- ◇ 季節別では、日照時間が短くなる秋（9～12月）及び冬（12月～翌2月）にかけて、歩行中の死者が多くなる。

	冬		春			夏			秋			計	構成率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			12月
1当運転中	3	3	2	1	6	3	2	2	6	5	2	4	39	24.5%
2当以下運転中	0	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	2	8	5.0%
自転車・軽車両乗用中	1	1	0	1	1	3	3	5	3	4	0	0	22	13.8%
同乗中	1	3	1	2	2	1	2	0	0	0	2	1	15	9.4%
歩行中	8	5	8	4	6	1	6	5	10	7	9	6	75	47.2%
計	13	12	11	9	16	8	15	12	19	18	13	13	159	100.0%



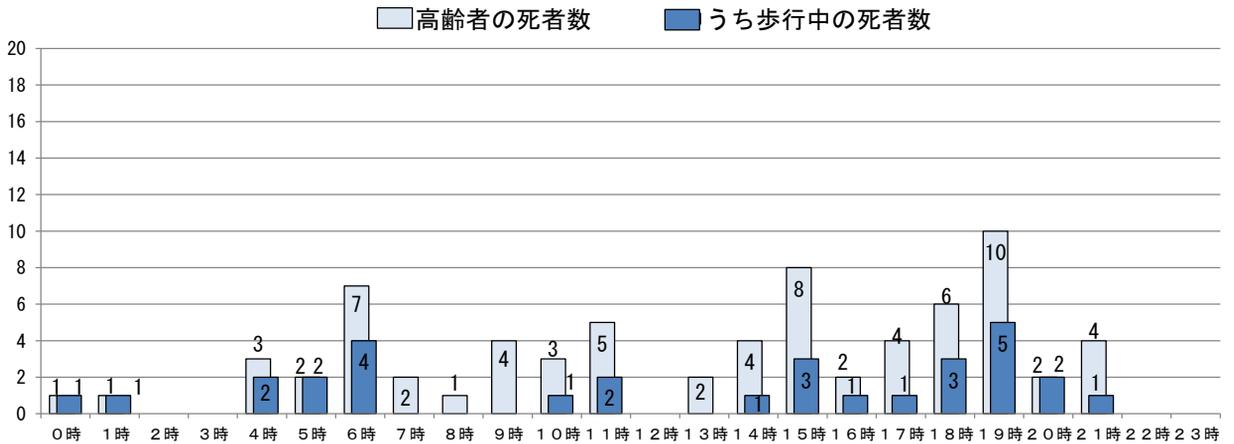
高齢者の季節別・時間帯の死者数

過去5年間（平成23年～平成27年）の高齢者の時間帯別死者数



過去5年間の春（3～5月）、夏（6月～8月）の時間帯別死者数

歩行中の死者は、夜間を含めて幅広い時間帯で見られる。



過去5年間の秋（9～11月）、冬（12月～翌2月）の時間帯別死者数

歩行中の死者が、薄暮時となる17時、18時及び朝5時に多くなる。

